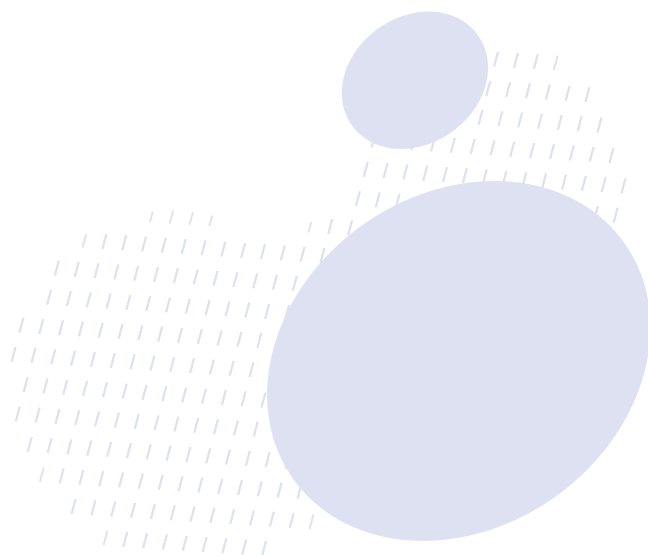


序章



序章 計画の目的と概要

序－1 策定の背景と必要性

本市では、平成27年度に策定した第5次高萩市総合計画(以下「前計画」という。)において、めざす将来像を「～まちの安全・ひとの安心・しごとの活力～ 快適生活都市 高萩」として掲げ、みんなが安全で安心して暮らせ、活力と元気が生まれる市民のためのまちづくりを市民とともに進め、誰もが快適に満足して暮らせる都市になることをめざし取り組んできました。

その間、本市を取り巻く社会経済情勢や地域社会動向は変化し、市民のライフスタイルや今後のまちづくりに向けたニーズも大きく変わろうとしています。地球規模での環境対策、人工知能(AI)、次世代移動通信システム(5G)等の技術革新が進む中、政府は、コロナ禍による働き方を含めた新しい生活様式の実践を呼びかけるなど、まちづくりを含めた地方自治は大きな変革の時代に差し掛かっています。

第6次高萩市総合計画(以下「本計画」という。)は、こうした時代の転換期を迎え、自然災害や感染症等に対する危機管理体制を強化するとともに、柔軟かつ的確な自治運営を図り、「持続可能な地域づくり」への取組を進めていくために策定するものです。

序－2 策定内容

本計画は、前計画に示した政策を精査し、これまでの施策の継承とともに、時代の変化に応じた改善を加え、新たな時代の要請に応じた自治運営の指針として策定します。

具体的には、「持続可能な地域づくり」を考える上で、SDGs*の視点を新たに取り入れ、時代に即した科学技術の進歩、ポストコロナの社会ニーズ等を踏まえた計画とします。市民・事業者・行政が共通のプラットフォームを持つことで、SDGsの認知度が高いといわれる若い世代の参加を促す地域づくりを進めるとともに、その理念を経営方針に盛り込む企業・組織等多様な主体と協力・連携していく効果も期待するものです。

また、市としてどのような政策に力を入れ、それを達成するためにどのような市民協働を行えばよいのか、その方針を示す重点計画を掲げるとともに、「高萩市創生総合戦略」との整合・連動した施策を示すこととします。

(※)SDGs(=Sustainable Development Goals)2015年9月に国連で採択された、17のゴールと169のターゲットで構成された「持続可能な開発目標」の略称です。

誰一人取り残されない持続可能な社会をつくるために、経済・社会・環境の3つの側面から、目標の達成に向けて、多様な視点と取組事項が盛り込まれています。

序－3 策定体制

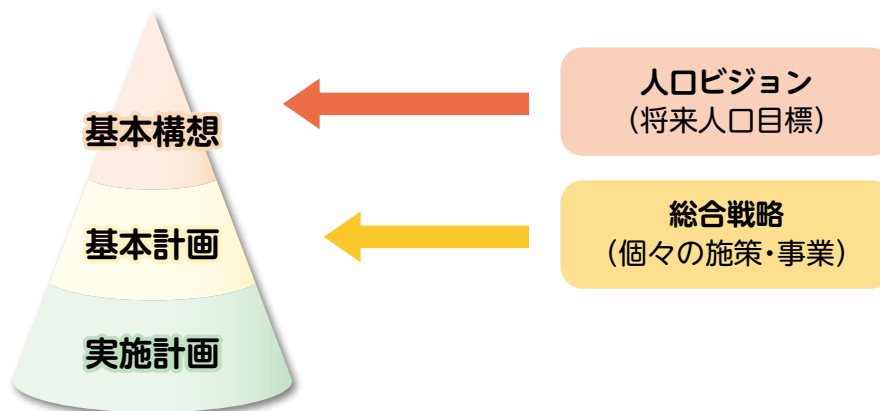
本計画は、行政単体でまちづくりを検討するのではなく、市民の意向を踏まえた計画とするため、令和元年度に市民意向調査を実施しました。

さらに、さまざまな立場の人によるパートナーシップとして、新たに「産学官金労言士」の枠組みによる「高萩市総合計画審議会」を組織し、多角的な視野により、まちづくりの検討を進めました。

序－4 計画の構成

第6次高萩市総合計画

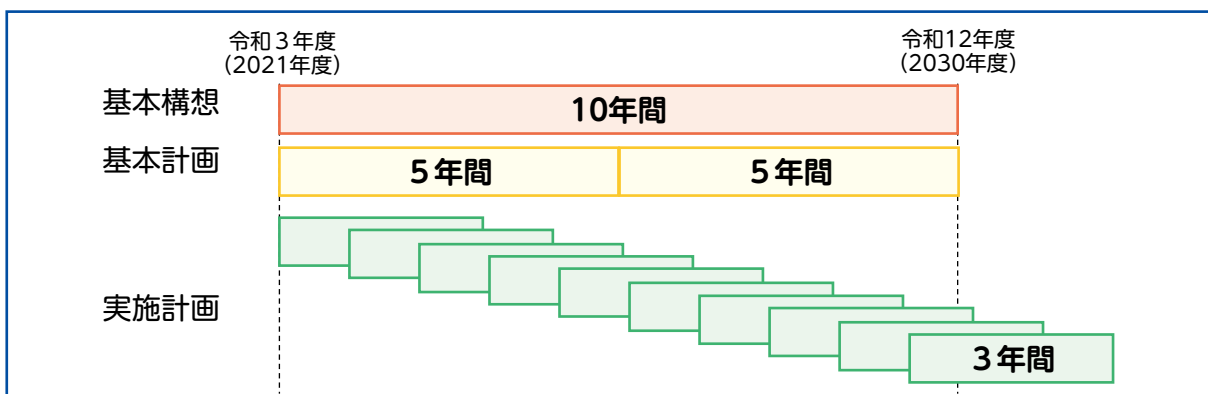
第2期高萩市創生総合戦略



基本構想	長期的な取組	「こうありたい」という、高萩市のまちづくりの将来像（基本理念、将来都市像、基本目標等）を示すものです。
基本計画	中期的な取組	基本構想を実現するために必要な、基本政策や施策の展開を示すものです。
実施計画	短期的な取組	基本計画を実現するための具体的な施策や事業を示すものです。1年毎の見直しを行います。

序－5 計画の期間

計画期間は、次のとおり定めます。



※事業・施策の進捗等を踏まえて毎年見直しを行う